

2025年5月吉日

報道ご関係各位



舞台芸術の未来を彩る新たな才能との出会いを目指して 「東京舞台芸術祭 2025」 参加作品公募プログラムエントリー受付開始！

このたび、一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク [代表理事：野田秀樹 (ノダ・マップ)、池田篤郎 (東宝)、吉田智誉樹 (劇団四季)] は、2025年9月より開催する「東京舞台芸術祭 2025」の参加作品公募プログラムを、東京都および東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団) で構成される東京舞台芸術祭実行委員会と共催して実施します。

本事業は、東京舞台芸術祭実行委員会と舞台芸術の統括団体が初めて一体となって実施するものです。東京で上演される多彩で奥深い作品を国内外に力強く発信し、それらの舞台作品を通じて、秋の東京を賑やかに彩ることを目指し「東京舞台芸術祭 2025」参加作品のエントリー受付を以下のとおり開始します。

【作品公募プログラム】

名称：東京舞台芸術祭 2025 参加作品公募プログラム

募集期間：2025年6月2日 (月) 23:59 まで | 選考結果通知：2025年6月下旬

対象期間：2025年9月1日 (月) ~11月3日 (月・祝)

対象地域：東京都内全域

エントリー区分：

A：劇場公演プログラム

劇場や文化施設内での上演

B：街中展開プログラム

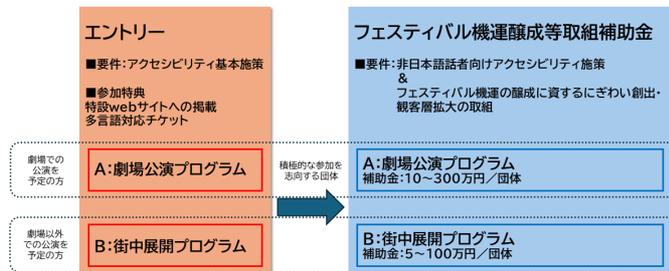
カフェ、公園、神社仏閣など、劇場以外の空間での上演

募集要項：<https://jpasn.net/tokyofes2025-opencall/>



公募プログラムでは、より積極的に参加いただける団体に向けて「フェスティバル機運醸成等取組補助金」を準備。にぎわい創出や、観客層拡大のための追加の取組を実施する事業を対象に、最大300万 (10/10) の補助金をお支払いします。

公募プログラムへの申請は、この舞台芸術祭に参加して広報協力などを得るエントリー申請と、より積極的な参加を志向する団体向けの補助金申請の2段階になります。



本リリースに関するお問い合わせ先

東京舞台芸術祭 2025 参加作品公募プログラム事務局 (一般社団法人 緊急事態舞台芸術ネットワーク内)

Mail : press@jpasn.net Tel : 050-1791-4630 (平日 10:00~14:00)

東京舞台芸術祭2025 参加作品公募プログラム 募集要項

I. 本事業について

東京舞台芸術祭は、舞台芸術を通じて東京に賑わいと広がりをもたらすことを目指しています。東京舞台芸術祭2025参加作品公募プログラムでは、東京で上演される多彩で奥深い作品を国内外に力強く発信し、それらの舞台作品を通じて、秋の東京を賑やかに彩ることを目的として、参加作品のエントリーを募集します。本年は、「劇場公演プログラム」「街中展開プログラム」の二つの枠組みでの東京舞台芸術祭2025参加作品を募集します。エントリー作品のうち、積極的な参加を志向する団体によるフェスティバル機運醸成に資する取組については、選考により補助金をお支払いします。

II. 事業概略

名称:東京舞台芸術祭2025

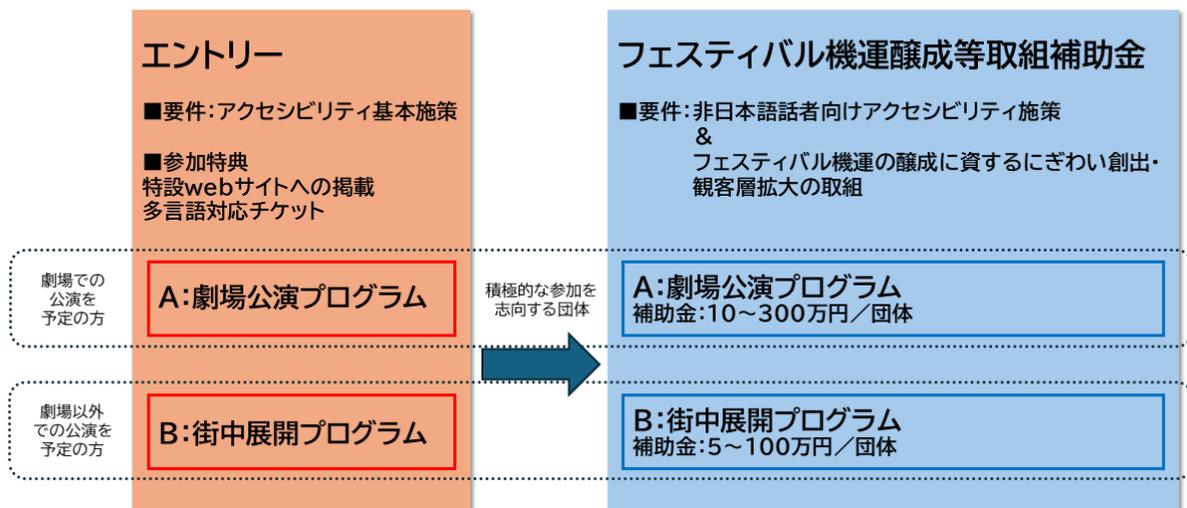
期間:2025年9月1日(月)~11月3日(月・祝)

対象地域:東京都内全域

主催:東京舞台芸術祭実行委員会[東京都、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)]
一般社団法人緊急事態舞台芸術ネットワーク

東京舞台芸術祭 参加作品公募プログラム

公募プログラムへの申請は、この舞台芸術祭に参加して広報協力などを得るエントリー申請と、より積極的な参加を志向する団体向けの補助金申請の2段階になります。



III. 事業内容

1. エントリー

以下の条件を満たす作品は、「東京舞台芸術祭2025」参加作品としてエントリー可能です。

a. 参加条件

① エントリー資格

- 団体、個人の公演活動実績が過去に2回以上あること。
 - 自ら経理し、監査する等の体制があり、事業予算の管理、決算を実施していること。
 - 準備から本番まで責任を持って公演を実施できる体制であること。
 - 応募から終了後の報告まで事務局と日本語での円滑な連携が可能であること。
 - 暴力団その他の反社会的勢力に、団体やその構成員が該当や関与していないこと。
 - 政治活動、宗教活動を行うことを目的とした団体、個人ではないこと。
- ※法人格の有無、活動拠点、国籍は問いません。

② 対象事業

- 「東京舞台芸術祭2025開催期間」(2025年9月1日(月)～11月3日(月・祝))内に東京都内で上演されていること。(一部日程での参加可)
- 演劇、ダンス、現代サーカス、大道芸など、パフォーマンスアートであること。
- 広く一般に公開される作品であること。
- 政治活動又は宗教活動を目的としない公演であること。
- 著作権等の権利処理を参加団体自身で責任を持って行うこと。
- 公序良俗に反するものでないこと。
- 公演の発表の会場との契約・会場の使用許可がおりていること。
- 基本的なアクセシビリティ向上のための施策を行う事業であること。
- 「本事業におけるアクセシビリティ向上に対する考え方について」(別添1)を参照し、少なくとも1つについて実施すること。

b. エントリー区分

「A.劇場公演プログラム」と「B.街中展開プログラム」の二つのエントリー区分があります。劇場空間で上演される作品はAに、カフェや野外など劇場空間以外の街中で上演される作品はBにエントリーをしてください。

エントリー区分	対象
A.劇場公演プログラム	劇場空間で実施される公演事業 (劇場・文化施設内の空間で行われるパフォーマンス)
B.街中展開プログラム	劇場空間以外の街中で実施される公演事業 (カフェ、店舗、公園、神社仏閣など屋内外問わず)

※A・Bいずれも、エントリー参加条件を満たす団体は「東京舞台芸術祭2025特設WEBサイト」への情報掲載が可能であり、また多言語対応チケット販売方法も検討中です。

c. エントリー方法

受付期間内に専用フォームに必要事項を記入して応募ください。複数作品を応募する場合も1件につき1通のフォーム入力をお願いします。団体や応募作品の情報のほかに、エントリー区分に応じて応募資料が異なります。

▽申請フォーム:<https://form.run/@tokyofes2025-opencall-entry>

<エントリー必要情報>

- 応募団体情報

- 連絡担当者情報
- 公演情報
- 広報画像(宣伝写真、キービジュアル、団体ロゴマークなど)
- アクセシビリティ向上のための施策

d. 選考について

選考はありません。ただし、書類不備があるもの、参加条件を満たしていないもの、公序良俗に反するものなどは事務局判断で対象外とする場合があります。

2. フェスティバル機運醸成等取組補助金

a. 概要

上記エントリー作品のうち、追加の取組として、「非日本語話者向けのアクセシビリティ追加施策」及び「フェスティバル機運の醸成に資するにぎわい創出や観客層拡大のための取組」を実施する事業(企画提案式)を対象に、選考を経て、補助金をお支払いします。1団体あたりの応募数に制限はありませんが、補助金の採択は1団体(1者)1件のみです。

① 「非日本語話者向けアクセシビリティ追加施策実施」

下記の中より3つ以上を実施してください。

- WEBサイトの多言語対応
- 当日パンフレットの多言語対応
- 多言語対応解説資料の設置
- 海外向けプレイガイドの利用
- 多言語に対応した字幕掲示や、字幕タブレット、字幕グラスなどの貸出
- 多言語対応可能なスタッフの配置
- その他、日本語話者以外を対象とした施策(自由記述)

② 「フェスティバル機運の醸成に資するにぎわい創出や観客層拡大のための取組」

企画をご提案ください。舞台芸術作品を地域にひらく取組や、新たな観客層の獲得のための取組など、内容の制限はありません。なお、企画の新規性は問いません。

b. 補助内容

企画提案の取組に対し、支援します。応募区分ごとに補助上限額が異なります。応募区分は、エントリー区分と同様です。

応募区分	補助額 (1件につき)	対象
A.劇場公演プログラム	10～300 万円	劇場空間で実施される公演事業 (劇場・文化施設内の空間で行われるパフォーマンス)
B.街中展開プログラム	5～100 万円	劇場空間以外の街中で実施される公演事業 (カフェ、店舗、公園、神社仏閣など屋内外問わず)

※補助額は、全体の応募状況を鑑みた選考等の結果を反映するため、応募された満額が採択されない場合があります。

※補助率は補助対象経費の10/10を上限とします。

※東京芸術文化鑑賞サポート助成との併願が可能です。その他、東京都の補助金・助成金との併用はできません。なお、他の行政関係の補助金や助成金の採択が決まっている事業は対象とならない場合がございます。

※支援対象は、「東京舞台芸術祭2025開催期間」(2025年9月1日(月)～11月3日(月・祝))実施期間中に行われる取組に限ります。

c. 申請方法

上述の「エントリー」の後、「フェスティバル機運醸成等取組補助金」に「申請する」を選択し、以下の必要な情報を入力して下さい。

<申請のための入力項目>

- 非日本語話者向けアクセシビリティの追加施策(上記の概要①参照)
- フェスティバル機運醸成に資するにぎわい創出や、観客層拡大のための取組
- 総事業費
- 補助希望額(上記応募区分の各プログラムの範囲内)
- 補助資料(自由書式/PDF形式 A4 サイズ 4枚以内)

d. 選考について

書類不備があるもの、参加条件を満たしていないもの、公序良俗に反するものなどは事務局判断で対象外とする場合があります。また、補助金採択については、有識者による選考委員会を設置し厳正の選考の上、採択を決定します。選考結果は採否にかかわらず2025年6月下旬にメールにて通知します。

e. 選考項目・基準

補助金申請する事業については、下記5つの項目を考慮の上、定性的・定量的に選考します。

選考項目	選考のポイント
影響力	<ul style="list-style-type: none">• 社会や地域に対して新たな価値やつながりを生む可能性があるか• 舞台芸術業界全体の発展につながる視点が含まれているか
波及力	<ul style="list-style-type: none">• 多様な層に届く視点を持っているか(特に今まで舞台芸術作品に興味がなかった層に届く視点を持っているか)• 他者からの共感・参画を生みやすい構造となっているか
拡張性	<ul style="list-style-type: none">• 自身の活動地域・活動分野に閉じず、今後他地域・他種への展開を志向し、その展開が期待できるか• 他分野(教育、福祉、観光など)との連携の可能性を持っているか
実現性	<ul style="list-style-type: none">• 応募内容に妥当性があり、具体的に計画されているか• 実施団体に、十分な体制と、経験・意欲・実行力が備わっているか
創造性	<ul style="list-style-type: none">• 文化芸術活動として質の高い活動が期待できるか• 団体独自の創造的な取り組みが含まれているか

f. 補助対象経費

事業実施のための全ての経費が対象となります。

※経費に関する証憑書類は、5年間保存してください。(証憑の提出を求める場合があります。)

IV. スケジュール

説明会:2025年5月21日(水)14:00(予定)

応募受付開始:2025年5月14日(水)14:00

募集締め切り:2025年6月2日(月)23:59

選考結果通知:2025年6月下旬

ラインナップ公開:2025年7月15日(火)予定

V. 東京国際フォーラムでのイベントについて

東京国際フォーラムの地上広場(野外エリア)を中心に、舞台芸術に日頃触れる機会の少ない方々との新たな接点を創出するとともに、フェスティバルに賑わいを生み出すことを目的としたイベントを実施します。公募プログラムにエントリーくださった方を対象に出演のオファーをさせていただく場合がございます。

▽イベント概略

日程:2025年9月29日(月)~10月5日(日)

場所:東京国際フォーラム 地上広場

内容:20分程度の作品上演やトークショーなど

出演料:相談の上決定

※日程には設営・リハーサル期間を含みます。

※スタッフは基本的に実行委員会が手配します。

VI. お問い合わせ

東京舞台芸術祭2025 参加作品公募プログラム事務局

(一般社団法人 緊急事態舞台芸術ネットワーク内)

お問い合わせ:<https://form.run/@tokyofes2025-opencall-contact>

電話番号:050-1791-4631(平日10時~14時)

本事業におけるアクセシビリティ向上に対する考え方について

1. 本事業でアクセシビリティ向上を狙う背景

本事業では、観劇という文化的体験の裾野を広げることを目的とし、従前の公演環境の整備の中では(公演形態、作品の提供スタイルなど)作品を届けることができなかつた層の方々に向けたアクセシビリティ向上施策を、公募プログラムにエントリーする皆さんに求めます。

演劇は人々の想像力を刺激し、社会との関わりを深める可能性を持つ表現形式であるが、現状では様々な事情によりその機会が限定されてしまっている現状があります。本事業では、以下に示す複数の観点から観劇機会の拡充を図ることで、包摂的かつ持続可能な文化事業を実現することを目指します。

2. アクセシビリティ向上の具体的施策イメージ

2.1 合理的配慮が必要とされる層に対する施策

- 車椅子利用者へのバリアフリー動線の整備
- 聴覚障害者向けの字幕・手話通訳の導入
- 視覚障害者向けの音声ガイドの提供
- 支援者・介助者の同伴がしやすい座席配置とチケット設計

2.2 子育て中の観客に配慮した観劇機会の提供

- 親子で鑑賞可能なプログラムの編成
- 会場内または近接地への一時保育サービスの提供
- ベビーカー置き場や授乳スペースの設置
- 子連れ観客に配慮したタイムテーブルの設定

2.3 不規則勤務者への考慮

- 平日昼間や深夜帯など、勤務シフトに合わせた多様な上演時間の設定
- 公演のアーカイブ配信やオンデマンド視聴の導入
- 柔軟な予約・キャンセル対応による参加ハードルの低減

2.4 演劇未経験者の観劇への心理的ハードルを下げる施策

- 上演前の解説トークや体験型ワークショップの開催
- 劇場内の案内強化や来場前ナビゲーションの整備(動画・チャットサポート等)
- SNS やウェブサイトでの「初めての方へ」ページの設置
- 入退場が自由な回の設定(フレンドリー・パフォーマンス)

2.5 経済的・社会的に困難を抱える層への観劇機会の提供

- 学生・若年層へのリーチ強化(U25 割引、リピーター特典等)
- 福祉団体・NPO 等との連携による観劇プログラムの実施

2.6 シニア世代やデジタル機器の利用に不安を持つ層への施策

- 電話予約や郵送チラシによるアナログな情報提供の併用
- 劇場スタッフによる来場サポート・事前相談窓口の設置
- 高齢者向けの観劇ガイドツアーなどの設定

(ここに記載している内容はあくまで一例に過ぎません。これら以外にも幅広く多くの方に対しての観劇機会の提供に向けた取組を行っている場合には、具体的な施策についてお教え下さい。)